

## 高齢者

武田光由議員（公明党）

**問** 高齢者が被害者にも加害者にもなっている交通事故への取り組み、振り込め詐欺の被害から高齢者を守る取り組みについて伺う。

**答** 高齢者の交通安全の取り組みについては「高齢者事故防止対策推進専門部会」を設置して重点的に取り組んでいる。具体的には、シニアクラブ会員等に交通安全教室を開催するほか、各種の集まりの機会に警察署や交通安全協会と連携して交通安全意識の普及啓発

を図るとともに、夜間、車のライトに反射する反射材等も作成・配布している。また、月末の31日には、交通安全協会、安全運転管理者協議会、区長会、民生委員・児童委員協議会、シニアクラブ等と街頭キャンペーン活動を展開している。

振り込め詐欺について、県では取り組み強化対策の一環として、新たに「電話de詐欺」という名称を使用して取り組みている。本市では、警察署から情報提供を受け、防災行政無線や広報そうさを使って市民に対して注意喚起を行っており、防災行政無線については平成26年度に20回、今年度はこれまでに10回の放送をした。

また、市内で詐欺電話が急増している場合は、緊急放送も行っている。

その他、防犯協会、警察と連携して防犯啓発チラシを作成して全戸配布を行うほか、年金支給日に市内金融機関入口での啓発PR活動を行っている。

消費トラブルから高齢者を守る取り組みについて、本市消費生活センターでは介護予防教室等、高齢者の集まる場所で「消費者トラブルに巻き込まれないため」と題した出前講座を昨年度は5回、110名の参加者に対し行った。

また、消費トラブルの相談も行っており、昨年度は受付実数252件のうち59件が70歳以上であり、関係機関との連携により解

決している。

住宅火災から高齢者を守る取り組みについて、総務省消防庁によると、平成26年中の住宅火災による死者は1,002人で、そのうち65歳以上の高齢者が約7割を占めており、住宅火災から高齢者を守るには、住宅用火災警報器の設置が非常に効果的と考えている。

匠瑳市横芝光町危険物安全協会では、住宅用火災警報器の取り付けが困難な65歳以上の高齢者世帯等に対し、住宅用火災警報器の取付け支援を開始した。今後、住宅火災から高齢者等を守るため住宅用火災警報器の設置促進及び住宅防火対策の強化を図っていく。

## のさか望洋荘

佐瀬公夫議員（匠生会）

**問** のさか望洋荘の貸付契約はどうなっているのか。貸付契約が終了したら建物を解体する方向なのか。

**答** のさか望洋荘は有限会社なのさかエコー社と建物賃貸借契約を締結している。

のさかエコー社から契約期間の延長と賃料の減額についての要望書が提出され、協議を重ねた結果、契約期間を平成28年8月31日まで延長し、賃料については年額40万円とする変更契約を、本年6月

23日に締結した。6月議会で答弁したと

おり、貸付期間終了後は安全面や防犯対策などの問題もあり、できる限り速やかに解体したいと考えている。



昭和46年に建設された「のさか望洋荘」

現在のところ跡地の利用計画はないが、ゴルフ場は引き続き地元の人々が利用できる施設として検討する。

## 都市計画

樫日出男議員（友志会）

**問** 都市対策について、飯倉台、中央地区における下水道、都市ガスの整備計画はどうなっているか。また、駅前等に防犯カメラの設置も検討しているかどうか。

**答** 下水道について、飯倉台では汚水共同処理施設により集中処理を行っている。それ以外の市内全域では合併処理浄化槽の設置を進めており、合併処理浄化槽設置者に助成を行っている。

都市ガスについては、飯倉台ではLPガスの集中供給方式と個別供給方式のいずれかを選択できるようになっており、中央地区では

林明敏議員（市民クラブ）

**問** 都市計画道路の進捗状況と駅南口の開発への取り組みは。また、銚子連絡道と都市計画の関連についてどう考えるか。

**答** 本市の都市計画道路は9路線、延長16・69キロメートルが都市計画決定されており、このうち4・

LPガスの個別供給方式となっている。ガス供給については、現在のところLPガスの個別供給方式で充足していると考えており、都市ガスを整備する計画はない。

防犯カメラについては、現在、八日市場駅、飯倉駅に設置している状況である。

41キロメートルが整備済みで整備率は26・4%となっている。駅南口の開発への取り組みについては、南口駅前広

場や駅自由通路、幹線道路整備などの行政投資により、駅周辺の利便性は向上したものと考えており、今後は、民間活力の導入とともに、

周辺環境や農業的土地利用との調和を図りながら、社会経済情勢の変化に対応した、適切な土地利用の誘導に努めていく。



整備された八日市場駅南口

銚子連絡道路と都市計画の関連について、銚子連絡道路は横芝・光インターから野栄バイパスとの交差点までの区間を山武・東総道路2期事業区間とされ、平成19年11月9日付けで千葉県が都市計画道路として決定し、現在県の道路事業として実施中である。この銚子連絡道路の旭市方面へのルートは、まだ調査区間であることから、現時点では都市計画決定は行なわれていない。

銚子連絡道路と土地利用の関連については、今後、銚子連絡道路の事業進捗状況や具体的な産業系土地利用の動向を見定めたいと、豊かな自然環境との調和や

**問** 八日市場駅南改札口について、駅南改札口を検討しているかどうか。

**答** 八日市場駅南改札口について、市ではJR東日本及び国土交通省に対して、千葉県JR線複線化等促進期成同盟を通じて、「南側改札口の設置」について毎年度要望をしている。引き続き、駅南側の活性化と市南部地域住民の鉄道利用者の利便性の向上を図られるよう要望していく。